

「(仮称)宇都宮市自転車のまち推進計画後期計画」の策定について

◎ 趣旨

「(仮称)宇都宮市自転車のまち推進計画後期計画」の策定にあたり、これまでの協議において進めてきた後期計画の基本的な考え方にに基づき、施策体系及び評価指標について協議するもの

1 後期計画の基本的な考え方

(1) 既存事業の強化

これまで“安全”“快適”“楽しく”“健康とエコ”の4つの柱の下、様々な事業を推進してきたところであり、後期計画においては前期計画の評価や課題、自転車を取り巻く環境変化などを踏まえ、自転車走行空間の整備や駐輪環境の向上策などについて、取組を強化していく。

(2) 新たな施策の柱の設定

「自転車のまち宇都宮」として、誰もが自転車を安全で快適に楽しく利用できる環境づくりを推進していくためには、人や公共交通などと自転車がさらに密接につながる必要があることから、新たな施策を位置付けるとともに、新たな施策とこれまでの施策がつながることが重要であるため、前期計画の4つの柱に加え新たな施策の柱として「つながる」を設定する。

別紙1参照

2 基本方針

○ 交通手段としての利便性を高める

自転車を交通手段の一手段として位置付け、施策事業を推進

- ・ 走行環境の改善 → 充実
- ・ 利用環境の改善 → 充実
- ・ NCCの形成やLRTの導入を踏まえた公共交通との連携強化

○ 自転車でまちの魅力を高める

社会情勢の変化などを考慮して、新たな観点から施策事業を検討 → 推進

- ・ サイクルスポーツの魅力向上
- ・ 新たなライフスタイルの提案
- ・ 自転車利用による来街者の増加
- ・ 健康度アップ・環境負荷の低減

3 施策体系（案）

・基本的な考え方

“安全”“快適”“楽しく”“健康とエコ”“つながる”の5本の施策の柱の下，各種施策事業により「自転車のまち推進計画」の実現を図るため，次の施策体系（案）を設定

別紙2参照



4 評価指標（案）

・基本的な考え方

(1) 活動指標（進捗状況の把握）

5つの柱の下，前期計画の活動指標を踏まえ設定する。

(2) 成果指標（整備効果の把握）

施策の効果を把握する指標として，前期計画の成果指標やチャレンジ目標を踏まえ，「交通事故件数」，「自転車交通分担率」，「市民満足度」の3つを設定

別紙3参照

5 今後のスケジュール

平成27年	11月	自転車のまち推進委員会・協議会の開催（第3回） ⇒計画素案の作成
	12月	計画素案の作成 パブリックコメントの実施
平成28年	2月	自転車のまち推進委員会・協議会の開催（第4回） ⇒計画案の作成
	3月	計画策定